

## 会議結果のお知らせ

第1回盛岡市市民協働推進アドバイザー会議を次のとおり開催しました。

平成25年8月28日

### 盛岡市市民協働推進アドバイザー会議

#### 1 開催日時

平成25年8月22日 午後1時30分～午後3時

#### 2 開催場所

市役所本庁舎4階 402会議室

#### 3 議題

(1) 市民協働推進指針（案）第1及び第2について

(2) もりおか市民活動支援室について

#### 4 会議の概要（配付資料は別添のとおり）

(1) 盛岡市市民協働推進指針（案）第1，第2部分について，各委員の盛岡のまちづくりについての感想等も含め，意見をいただいた。（主な意見は次のとおり）

- ・前半が長い，全体を通じて前半部分を生かすよう作っていけば良いのではないかと。
- ・市民協働は全国的な課題であり，他の自治体でも指針等を策定しているため，「盛岡らしさ」を強調することが大切ではないかと。
- ・先の大津波被害ではボランティアセンターがすばやく立ち上がり，住民も一緒になって片付け等を行った。徐々に復旧し，まちづくりが始まっていくが，行政に財政支援を頼る時代ではなく，市民協働のモデルとなっていくと思う。
- ・NPOをどう生かしていくか，環境整備や団体を育てることが必要なのではないかと。

(2) 県の緊急雇用等の財源を活用して設置した「もりおか市民活動支援室」について，平成25年度をもって財源が切れることから，この機能を継続するうえで必要とされることについて意見をいただいた。（主な意見は次のとおり）

- ・利用件数が少ない。支援室としての役割を考え，広げる必要があるのではないかと。
- ・印刷機能の面では有用である。
- ・利用対象をNPOから町内会にして利用者が増えたことは，町内会にニーズがあったということかと思われる。
- ・企業も支援室のサポーターとして名を連ねても良いのではないかと。

## 会議結果のお知らせ

第2回盛岡市市民協働推進アドバイザー会議を次のとおり開催しました。

平成25年11月27日

### 盛岡市市民協働推進アドバイザー会議

#### 1 開催日時

平成25年11月21日 午前10時30分～正午

#### 2 開催場所

市役所本庁舎 4階 402会議室

#### 3 議題

(1) 盛岡市市民協働推進指針（案）について

(2) 地域協働制度の検証について

#### 4 会議の概要（配付資料は別添のとおり）

(1) 盛岡市市民協働推進指針（案）の全体を提示し、意見等をいただいた。（主な意見は次のとおり）

- ・ 基本理念に「盛岡らしく」とあるが、具体性、市としての戦略が分からない。
- ・ 県都・盛岡としての自覚・責任を意識すべきではないか。
- ・ 協働を掲げるうえで、主体を構成する「個人」を意識する必要があるのではないか。
- ・ 市の役割として「ニーズの掘り起こし」とあるが、市がやるべきことなのか疑問である。
- ・ 市だけで作ったのではなく、様々な協議を経てこの指針があるということを市民らが共有していくために、策定の経緯を明らかにしたほうが良い。

(2) 平成23年度から取り組んでいる地域協働について、次回会議で取組の検証を行っていただくにあたり、制度の説明を行い意見・感想等をいただいた。（主な意見は次のとおり）

- ・ 人口により補助額が決まるが、際限なく補助するのがいいのか疑問である。やる気のあるところに多く予算がつく仕組みの方が良いのではないか。
- ・ 画一的に補助すると「補助があるから事業をやる」という構造になる。
- ・ 町内会が中心となって組織を仕切ると、若い人たちが入っていく仕組みにならないのではないか。

## 会議結果のお知らせ

第3回盛岡市市民協働推進アドバイザー会議を次のとおり開催しました。

平成26年2月10日

### 盛岡市市民協働推進アドバイザー会議

#### 1 開催日時

平成26年2月5日 午前10時～午前11時30分

#### 2 開催場所

プラザおでって3階 特別会議室

#### 3 議題

(1) 盛岡市市民協働推進指針（案）について

(2) 地域協働制度の検証について

#### 4 会議の概要（配付資料は別添のとおり）

(1) 盛岡市市民協働推進指針（案）について、意見をいただいた。（主な意見は次のとおり）

また、内容については概ね了解された。

- ・市民の市政参画の部分について、本文に説明を加えてもいいのではないか。
- ・「盛岡らしさ」が分かりやすくなったと感じる。個人によって感じる「盛岡らしさ」は違うので、そこを大事にしていくことが大切である。
- ・理念、原則、役割が記されているが、市は方針を作るから、残りの主体は頑張れと言っているように見える。また、新しさを感じない。
- ・地区活動センター等が地域の連携の拠点になるように、柔軟な運営を望む。
- ・市の方針を理解し、公平な施設運営を担える人が必要である。そのためには、協働を理解した市民が育たなければならない。

(2) 地域協働の検証について意見をいただいた。（主な意見は次のとおり）

また、内容については了解された。

- ・実際に取り組んでいるが、事務局機能の部分が大切だと感じる。
- ・日本には寄附の文化がないが、財源確保の方法として寄附金が集まるのか。
- ・市においては、地域と関係する業務を人事異動や昇任に反映させてはどうか。